

第1回 下田市立中学校再編検討会議 会議録

日 時 平成28年10月11日(火) 午後6時30分から午後8時20分

場 所 下田市立中央公民館 2階 大会議室

出席者 会長及び副会長、委員26人 事務局6人 計34人

会長	佐々木 文夫	下田市教育長
副会長	森本 幸平	下田市校長会会長兼下田市立下田小学校校長
委員	竹内 信子	下田市立稲梓小学校校長
委員	山田 浩	下田市立稲生沢小学校校長
委員	山梨 隆史	下田市立白浜小学校校長
委員	黒田 英津子	下田市立浜崎小学校校長
委員	渡邊 篤之	下田市立大賀茂小学校校長
委員	進士 真	下田市立朝日小学校校長
委員	森本 秀樹	下田市立稲梓中学校校長
委員	鈴木 徹弥	下田市立稲生沢中学校校長
委員	猪ノ原 克己	下田市立下田東中学校校長
委員	渡邊 久志	下田市立下田中学校校長
委員	土屋 英典	下田市立稲梓小学校PTA会長
委員	今井 弘興	下田市立稲生沢小学校PTA会長
委員	飯田 雅之	下田市立白浜小学校PTA会長
委員	金指 好則	下田市立浜崎小学校PTA会長
委員	田中 美和	下田市立下田小学校PTA会長
委員(欠席)	若森 千枝	下田市立大賀茂小学校PTA会長
委員	鈴木 勉	下田市立朝日小学校PTA会長
委員(代理)	伊藤 拓也	下田市立稲梓中学校PTA副会長
委員	植松 直也	下田市立稲生沢中学校PTA会長
委員	土屋 考史	下田市立下田東中学校PTA会長
委員	若林 僚	下田市立下田中学校PTA会長
委員	渡邊 金富	下田市区長連絡協議会下田地区会長(中央区長)
委員	渡邊 洋之	下田市区長連絡協議会稲生沢地区会長(東本郷区長)
委員	山田 徳次	下田市区長連絡協議会稲梓地区会長(箕作区長)
委員	外岡 勝博	下田市区長連絡協議会朝日地区会長(大賀茂区長)
委員	増田 信隆	下田市区長連絡協議会浜崎地区会長(柿崎区長)
委員	鈴木 康	下田市区長連絡協議会白浜地区会長(板戸区長)
事務局長	峯岸 勉	下田市教育委員会学校教育課課長
事務局	山梨 弘樹	下田市教育委員会学校教育課参事
事務局	吉田 康敏	下田市教育委員会学校教育課学校教育係長
事務局	土屋 大祐	下田市教育委員会学校教育課指導主事
事務局	土屋 真一郎	下田市教育委員会学校教育課技師
事務局	原 隆史	下田市教育委員会学校教育課主事

1 開 会

<事務局長>

皆様、こんばんは。ただ今から第1回下田市立中学校再編検討会議を開会します。私は下田市教育委員会学校教育課長の峯岸と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。それでは、次第に従いまして、進行させていただきます。会長挨拶でございますが、下田市立中学校再編検討会議設置要綱の第2条第2項により、会長は教育長をもって充てることとなります。まず初めに会長であります佐々木教育長より挨拶を申し上げます。

2 会長挨拶

<会 長>

皆様、こんばんは。大変お忙しい中、第1回中学校再編検討会議にご出席いただきましてありがとうございます。この会の趣旨でございますが、設置要綱の第1条に記載されていますように再編整備に係る課題についての意見を聴取するものでございます。本年度中に今回を入れて3回を予定しております。この会を開催することになりました経緯を簡単に説明させていただきます。

4中学校の再編整備につきまして、ご承知のように、平成19年の稲梓中学校と稲生沢中学校の学校統合に向けて取り組みましたが、皆さんの同意が得られず見送って参りました。

以後7年以上が経過し、少子化も更に進行している状況から、再度、学校等再編整備審議会に諮問させていただき、平成27年3月に答申が出され、その後、中学校単位で説明会を開催させていただきました。

答申内容の要旨は「将来的には中学校一つということも、視野に入れて再編を考えていくべきと思われる。その第一段階として稲梓中学校と稲生沢中学校を統合し新たな中学校を構築すべきである。また、下田東中学校が単学級になった場合は下田中学校との推進をしていく。」との答申が出されました。

その答申を受け、4校を一校化で進めていくかについて、生徒数の推移と準備期間の必要性を検討しながら、平成28年1月に保護者及び先生方にアンケート調査をお願いし、その分析をしながら慎重に検討してきましたが、市長が交代し、新市長の考えも踏まえ、定例の教育委員会、総合教育会議で方向性を協議、調整しました。

その結果を踏まえ、8月26日臨時の記者会見で市長より一校化で進め、そして候補地として、稲生沢中か下田中として方向性を決定しました。また、9月の議会の全員協議会にも報告させていただきました。

この検討会議では、一校化にするための課題を出していき、その課題の解決策を協議していただくこと、候補地としてどちらがふさわしいか、協議しながらこの検討会議として方向性を出していただき、その結果をもって教育委員会として報告書を作成していきたいと考えております。

見通しとして、一回目はこれまでの経過等を説明させていただき、本会議としての課題を整理し、それぞれ保護者、地域、学校に持ち帰っていただき、ご意見を伺って取りまとめていただき、12月に予定している第2回で、皆様と課題に対する意見を協議し、この会議としての方向性を見出し、第3回で2月頃に教育委員会が作成する「報告書」の内容確認をさせていただきたいと思ひます。

下田市の子ども達の未来に向けて「子どもにとっての、より良い学習環境創り」をしていきたいと思ひますのでどうぞ宜しくお願ひいたします。

<事務局長>

ありがとうございました。続きまして、次第を進める前に、本来であれば、本日会議に出席して

いただいております皆様方、一人ひとりをご紹介させていただきたいのですが、本日配布しております名簿により紹介と代えさせていただきます。なお、本日は稲梓中学校PTAにつきましては、副会長さんが代理出席、大賀茂小学校PTA会長さんにつきましては、欠席となっております。

事務局を紹介させていただきます。事務局は下田市教育委員会学校教育課が所管させていただいております。参事の山梨、学校教育係長の吉田、指導主事の土屋、技師の土屋、担当の原でございます。

それでは次に進めさせていただきますが、本日、配布させていただいております資料1の2枚目に検討会議設置要綱がございますが、その設置要綱第4条第1項により会長が議長となりますので、これからの会議の進行については、会長にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

<会 長>

それでは、次第を進める前に、事務局から配布資料について、説明を求めます。

<事 務 局>

— 配布資料説明 —

3 副会長の指名について

<会 長>

それでは次に進めさせていただきます。次第3 副会長の指名についてですが、その指名につきましては、検討会議設置要綱第2条第2項により、会長が指名することとなっております。副会長を下田市校長会の会長であり、下田市立下田小学校校長の森本幸平委員を指名したいと思います。指名されました森本委員につきましては、お忙しいところ申し訳ございませんが、よろしくお願いいたします。

もしよろしければ、森本副会長より一言、ご挨拶を賜りたいと思いますがよろしいでしょうか。

<副 会 長>

皆様、こんばんは。突然の依頼で困惑しておりますが、以前、稲梓中と稲生沢中との再編の際、少し関わっていたことがあり、再編について強い思いを持っております。本当に子どもたちにとってより良くなるよう進んでいければ、また、市全体で考えていくことが良いと思っております。よろしく申し上げます。

<会 長>

突然の指名で申し訳ございませんでした。ありがとうございます。それでは、次の事項に進めさせていただきます。

4 下田市総合教育会議報告書について

5 下田市立中学校再編検討組織及びスケジュール等について

<会 長>

それでは、次の事項に進めさせていただきます。次第4 下田市総合教育会議報告書について 次第5 下田市立中学校再編検討組織及びスケジュール等について 事務局からの一括にて、説明を求めます。

<事 務 局>

— 下田市総合教育会議報告書、検討組織及びスケジュール等について、説明 —

<会 長>

ただ今の説明に関しまして質疑などはありませんか。

<委員(区長)>

検討会議の位置づけについてですが、前に頂いた報告書(別冊)のスケジュール表の中に、検討会議にて候補地の決定と記載されています。今日の説明や資料にある設置要綱等を見るとあくまでも意見を聴取する組織としているのですが、どういう位置づけであるのか、再度、確認をさせていただきたい。

<事務局長>

検討会議の位置づけでございますが、あくまでも本日、配布させていただいた設置要綱第1条にあるとおり、再編に関するご意見を聴取する組織になります。総合教育会議にて、1校化や新中学校として稲生沢中か下田中とする方向性が示されましたが、それらに対する課題について、皆様からご意見を聴取することを目的としております。決定という表記があまり適切ではなく大変申し訳ございませんが、あくまでもご意見を伺うというところでございます。

<委員(区長)>

それでは、総合教育会議で出た1校化や新中学校候補地として稲生沢中か下田中になることは、既に決定していることになるのですか。

<事務局長>

決定ではなく、あくまでも総合教育会議としての方向性を示したということになります。

<会 長>

ただ今の件についてですが、いろいろな意見が総合教育会議の中で出ましたが、皆様にどういう形でお示したら良いのかという議論となり、ある程度こちらで方向性としてお示した中で、ご意見を伺った方が次に進むには良いのではないかという結論となり、今回の状況となっております。

<委員(区長)>

平成21年5月に稲梓中と稲生沢中との統合が見送りされた理由について、もう少し詳しく教えていただきたい。2校で統合が上手くいかなかったのに、今回は4校で統合となるとより困難ではないかと考えます。また、総合教育会議で示した1校化でいくという方向性の理由付けについてですが、この内容では凄く弱い感じを受けます。例えば、4校を1校にし、残りのいずれかの学校跡地に市庁舎を持っていくというような、大胆な理由がなければ弱いのではないかと思います。

<事務局長>

まず、見送りをした理由でございますが、先ほど説明させていただきましたが、当時の保護者、地域の方にご理解をいただけなかったということになります。それと同時に、統合しなければならぬ時に先送りとしたという部分においては、教育委員会としても努力が足りなかったということも否定できないと考えております。続いて、総合教育会議の1校化の方向性についてですが、平成27年3月の再編整備審議会から答申内容をご覧ください。まず、将来を見据えて中学校は一つということについてですが、当面という部分については、まずは稲梓中と稲生沢中を現在の稲生沢中に統合するということ、下田東中が単学級となった場合、下田中との統合を推進すること、こういった段階的な統合を進める中で将来は1校化を進めることを視野に入れて統合するという答申が出ています。そうであるならば、稲梓中と稲生沢中を先に統合すべきだという協議が実際にありましたが、やはり少子化等の面から考えると答申通りの2校とするのは、現実的にはかなり厳しい状況にあります。段階的に統合しますと最初にそれぞれで統合し、数年後にまた1校に統合するとなると保護者の負担等が増えてしまいます。そういう中で多少時間がかかったとしても最初から1校化とした方が良いということで、説明資料48ページの理由1及び2に記載がされております。また理由として弱いのではないかとのご指摘の部分ですが、地域とのつながりなど、学校には色々な役

割がありますが、教育委員会としては、あくまでも子どもたちの学習環境を良くすることを第一として主眼を置いております。廃校跡地の利用など、様々な検討する必要があると思いますが、庁舎の問題も含めまして、あくまでも学校再編の中では子どもを中心として検討していくべきであるという教育委員会の考え方があります。今後、再編の話が進み、ある程度明確なものが出てきた段階で、跡地利用についての検討がなされると理解しております。現段階でそういったもの全てを出すというのは、学習環境を良くすることから外れてしまうと総合教育会議及び教育委員会として、判断をしております。

<委員(区長)>

私は総合教育会議で示した1校化の方向性について、賛成の立場です。そこで4校から1校化するとなると保護者の負担が一番大きな問題であると感じております。お伺いしたいのは、市内4中学校の現在の維持管理経費が、どれ位なのかという部分を教えていただきたいです。今後、統合後の通学費の問題などの財政的な面で絡んでくると思われまますので、お示しいただきたいです。

<事務局長>

小学校7校、中学校4校あり、行政ですのでそれぞれに小学校管理事業、中学校管理事業と予算を持っております。その中に当然、光熱水費、修繕料など含まれておりますが、数字は今、持ち合わせておりませんので、次回会議の際にお示しさせていただきたいと思っております。

<会 長>

アンケートなどの結果を見ましても、やはり通学費という部分についてかなり大きな関心になっているということで、教育委員会としても少しでも保護者に対する負担について軽減されるよう、庁内PTをはじめ財政当局とともに協議をして参りたいと考えております。

<委員(区長)>

ただ今の質問と同じになりますが、先生の人数が22人減少されるが、通学費を出すと4,000万円から6,000万円弱、予算が必要となります。そして、学校が減った場合には3校分の維持管理費も減ることが想定されます。確かに教育の環境のことはわかりますが、市に財政的問題があるのも事実だと思いますから、それらのメリット、デメリットについてももう少し具体的にお示しいただく必要があると思います。教育環境のことは十分に理解していますが、やはり最終的には下田市の財政が厳しい状況の中では、通学の負担、教職員減少による減額、3校分の維持管理経費の減額分の比較については、先ほどの跡地利用について、例えば庁舎をその場所になどは検討外だとはしても、数字的なものというのは必要だと思います。要望として発言させていただきました。

<事務局長>

市の財政のことをご心配いただきまして、ありがとうございます。明日、今、発言されたからということではなく、財政当局と校舎建設についての打ち合わせをさせていただき予定となっております。新校舎建設なのか、改築なのかという部分はまだ決まっておませんが、市の財政に負担をかけないようなメリット、デメリットというものについても次回までにお示ししたいと考えております。

<委員(区長)>

検討会議として検討していく内容については、先ほど資料2で示した主に4つのことについて話しをしていくということですのでよろしいでしょうか。そうであるならば、仮に中学校を1校にした場合、稲生沢中なのか下田中なのかどちらかになるのだと思いますが、新中学校が仮に現在の下田中の広さで足りるのかどうなのかという部分について、あるいは稲生沢中にした場合はどうなのかを確認をさせていただきたい。

<事務局長>

まず、現在ある中で下田中学校が一番大きい学校になりますが、過去の人数的なものはわかりませんが、生徒数が多かった時に対応できていたのだからそのままで良いのではないかと考えられていると思われます。しかし、授業方法というものが当時と比較すると変化をしてきており、ただクラス分だけの教室があれば良いというものではなく、例えば特別支援の教室や美術、家庭科、音楽などの特別教室も必要となってきました。

<事務局>

仮に 33 年度想定で、40 人学級ですと各学年ともに 4 クラスという状況になりますが、今の静岡県の制度でいきますと例えば静岡式 35 人学級というものがあり、それを想定しますと各学年 5 クラス位になります。また、クラス数だけの教室数があれば良いのかというところという問題でもなく、様々な教員の加配もあり、指導方法工夫改善という形で、例えば 1 つのクラスを 2 つに分けて、興味関心別に学習を行うことができるなど、実際には様々な形態がとられています。そうするとクラス数プラス 2 つ教室が必要であるなど、33 年度で想定しますと学習室だけで 40 くらい必要になると思われます。仮に今の下田中学校の広さになりますと間違いなく足りないという状況になります。いずれにしても現行のままでは足りないということは教育委員会としては理解しております。

<会長>

ただ今の財政的な面や校舎の面につきましては、必要事項となりますので、当然、次回会議の際に皆様にお示しさせていただきます。

<委員(区長)>

今現在、平成 33 年以降に 1 校化という決まった形で話しが進んでいるが、どこで最終的に決定がなされるのか、静岡県なのか、下田市なのか、お伺いしたい。

<事務局>

あくまでも市立中学校になりますので、下田市が決定することになります。そのためにこのような場を設けさせていただいて、ご意見を伺っているということになります。先ほど、再編整備審議会の説明をさせていただきましたが、その決定の後、いざ統合を進めようということになりますと、準備委員会という別の附属機関がございます。そこで学校名や校歌、制服、通学補助などの具体的な、細かい部分を決めて参ります。

<委員(校長)>

1 点確認をさせていただきたいのですが、再編については、各委員の皆様の考え方の中で、最初のベースが大事だと思いますし、前回の給食センターの際も少し揉めたところもございますので、発言させていただきますが、総合教育会議で示した 1 校化の方向性についてを検討していくんだという部分を再確認する必要があると思います。その部分を委員の皆様に確認をしていただきたいのですが。

<会長>

先ほど、資料 2 の中で示させていただきましたが、検討会議について 4 つの聴取事項がございましたが、それに基づき、会議を進めるということによろしいでしょうか。

<委員(区長)>

先ほどのご意見に賛同しますが、ここで 1 校化を進めるんだということをここではっきりと挙手をして、確認をすることが必要だと思います。

<委員(区長)>

2 校化を進めるべきであるという人は意見を言うことはできなくなるのでしょうか。

<会 長>

あくまでも方向性としては1校化を進めるとしてはいますが、意見については何ら発言できないというものではございません。

<委員 (PTA) >

PTA会長の立場としては、PTAの皆様意思確認が取れてない中で、はっきりとここで挙手をして確認することは難しいと思います。

<委員 (PTA) >

アンケート結果からも段階的、1校化については、半々の状況になっている中で、今後、保護者説明会を通じて理解を求めていくものだと思うのですが、そういった中で今、確認することは難しいと思います。

<委員 (区長) >

やはり通学費の問題が大きなもの、この部分で少なくとも既存の半分以上の通学費補助を確定させていかないと再編は難しい部分だと思います。

<委員 (PTA) >

1校化でいくという方向性は決まっているということですか。そうであるならばPTA会長としては、保護者の皆様にこういう方向性で進んでいますという内容について、お伝えしていくことしかできないと思います。

<会 長>

この段階的か、1校化かという協議については、様々な協議をして参りました。また、アンケートでは、どちらとも言えないと回答している方も多かったのですが、その原因をみるとやはり通学費の部分でなかなか結論が出せないという検証もさせていただいております。文章として、1校化にする理由が非常に弱いという意見もございましたが、単純に今回の1校化という方向性の結論を出したわけではございません。行政としては、方向性を示させていただいたということになりますが、その後、当然、様々なご意見を伺う必要がございます。例えばPTAの皆様については、1校化の方向性で進んでいるが、その中でどのような課題が考えられるのかという部分について、保護者の方にご確認をお願いしたいということでもあります。教育委員会としても、説明会開催と同時に再度アンケートを実施させていただき、その把握をさせていただきたいと考えております。あくまでも前提として、例えば2校化が良いなどという議論をしますと先ほど説明させていただいたとおり、稲梓中は生徒数が1ケタ台となる中で稲生沢中との統合をしても単学級が生まれてきてしまう状況となり、なるべく早く子どもたちの学習環境を良くしたいという中で今回の方向性を出させていただいているという部分をご理解いただきたいと思います。そういった点を踏まえ、1校化の方向性でご意見を伺っていくということによろしいでしょうか。

<委 員>

意見なし。

<会 長>

1校化の方向性でご意見を伺っていきたく思いますので、よろしく願いいたします。

<委員 (区長) >

設置要綱第6条で守秘義務を定めておりますが、今回の会議内容を他の人に話すことはできないのですか。

<事務局長>

あくまでも個人情報が含まれていた場合であって、今回はそうではありませんのでお話ししていた

だいて構いません。

<会 長>

確認をさせていただきたいことがございます。11月に2つの中学校視察について実施させていただきたいと考えております。お忙しい中、委員すべての方が参加する必要は必ずしもないと思いますが、事務局にて日程調整を行い、委員の方が最も都合の良いを選択させていただき、実施をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。また、今回配布しましたアンケートの校正につきましても期間が短く申し訳ございませんが、今週末14日（金）までに教育委員会へご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

6 そ の 他

<会 長>

それでは、次第6 その他に入らせていただきます。事務局、また委員の方からも何かございますか。

<事 務 局>

— 次回会議（12月）2中学校視察（11月）日程及び報償費振込先口座確認について、連絡 —

7 閉 会

<会 長>

それでは、これを持ちまして、第1回下田市立中学校再編検討会議を終了させていただきます。委員の皆様方におかれましては、長時間にわたり、お疲れ様でした。